



南あわじ市

議会だより



◀淡路人形会館建設現場。地中から大量の海水が湧出（8月22日、文教厚生常任委員会）



◀▲淡路島酪農農協牛乳工場を調査（8月17日、産業建設常任委員会）



▲津波発生時の避難路の状況を確認
写真上、阿万。写真下、福良
（7月29日、総務常任委員会）

主な内容

9月定例会の結果	2 ~ 9
一般質問	10 ~ 17
委員会活動報告	18 ~ 21

「現地で調査」

編集 南あわじ市議会広報広聴特別委員会

発行 南あわじ市議会 〒656-0472 南あわじ市市善光寺18-27

TEL.0799-43-5005 FAX.0799-43-5105 E-mail gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp

南あわじ市ホームページ <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp>

議決結果一覧

議長（阿部計一）は表決に加わらない。
（○は賛成、×は反対、－は欠席、※は退席）

提出者	議案名	議決結果 (議会の意思)	各議員の賛否																		
			中村三千雄	川上命	登里伸一	楠和廣	北村利夫	蓮池洋美	砂田泉洋	柏木剛	森上祐治	印部久信	長船吉博	廣内孝次	小島一	久米啓右	谷口博文	原口育大	熊田智彦	蛭子裕重	出田
市長	損害賠償額決定の専決処分の承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	22年度一般会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	22年度国民健康保険特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	22年度老人保健特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	22年度後期高齢者医療特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	22年度介護保険特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	22年度訪問看護事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	22年度慶野松原海水浴場特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	22年度土地開発事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	22年度産業廃棄物最終処分事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	22年度ケーブルテレビ事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	22年度財産区管理会(広田、福良、北阿万、沼島)特別会計決算の認定(4件)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	22年度下水道事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	22年度農業共済事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	22年度国民宿舎事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務	23年度一般会計補正予算(第2号)(修正案)	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	”(修正部分を除く原案)	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	23年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	税条例等の一部を改正する条例制定(修正案)	修正可決	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	”(修正部分を除く原案)	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	廃棄物処理手数料徴収条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	障害者福祉施設条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	老人会館条例の廃止	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	農業共済条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画の策定(伊毘辺地)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	福良地区市営住宅新築工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	人権擁護委員候補者(岡一秀氏)の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	人権擁護委員候補者(福原美千代氏)の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	原子力発電からの脱却とエネルギー政策の転換を求める意見書	原案可決	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	農地・水・環境保全向上対策の継続発展を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務	「離島振興法」の改正・延長を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産建	大学誘致を求める決議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

総務＝総務常任委員会、文教＝文教厚生常任委員会、産建＝産業建設常任委員会



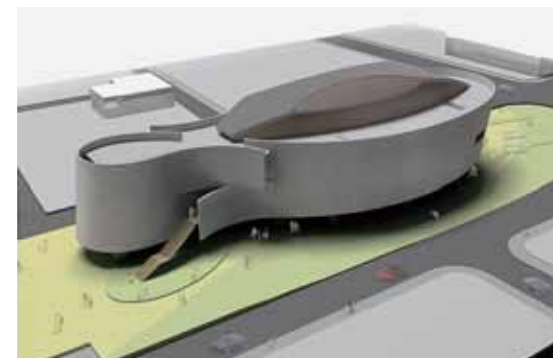
▲4日間行われた決算審査特別委員会

第39回南あわじ市議会定例会が8月29日～9月27日の会期で開かれ、市長より提出された議案10件、一般会計及び特別会計決算17件、専決処分1件、諮問2件について審議が行われました。
また、意見書(議員提案2件・委員会提案1件)と決議案1件が可決されました。
各議案の内容と主な質疑及び採決の結果(別表)をお知らせします。

全34議案を審議
人形会館補正予算と税条例を修正可決



▲本定例会で福良地区市営住宅新築工事請負契約の締結が決まりました



▲淡路人形会館建設工事にかかる補正予算が上程。基礎工事(先行掘削、止水工事等)費用分を減額し修正可決

9月定例会の日程

- 8月29日 定例会第1日(議案上程ほか)
- 9月5日 // 第2日(一般質問)
- 7日 // 第3日(一般質問)
- 8日 // 第4日(一般質問、議案追加上程)
- 12日 決算審査特別委員会(議案審査)
- 13日 //
- 14日 //
- 15日 //
- 22日 総務常任委員会(議案審査)
文教厚生常任委員会(議案審査)
産業建設常任委員会(議案審査)
※台風15号の影響で日程変更
- 27日 定例会第5日(採決ほか)

人形会館建設費、鳥獣被害対策費など追加

平成23年度一般会計補正予算（第2号）

■議案内容

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億6931万円5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ245億7882万3千円とする。

■主な質疑

▼鳥獣被害対策費 3579万円追加

問 鳥獣被害対策における駆除頭数の確認方法は。

答 昨年までは、シカは耳を左右カットして

確認。イノシシは尻尾を切ってくることで確認してきたが、今年度は、シカについては前歯を抜いて確認することを淡路3市で協定している。イノシシについては、ペイントして向きを一方に決めて写真を撮ることで、補

助金の不正受給が無いよう駆除頭数の確認を適正に行いたい。

問 最終処分はどうしているのか。埋設は違法ではないのか。

答 県と協議した結果、違法ではない。今後、適切な埋設方法について指導を徹底させたい。

▼消防団員公務災害補償共済掛金 4993万円追加

問 消防団員公務災害補償共済掛金の増額対象人数は、本市の消防団員全員か。

答 共済には本市の全消防団員が加入しており、通常、団員一人当りの掛金が年間1900円だった。しかし東日本大震災で250人もの非常勤消防団員が犠牲になったことから、本年度において、今後の遺族補償一時金及び遺族補償年金の総額の部分を基金に積立て、

▼淡路人形会館建設工事費 8,600万円 国費返納金998万円の追加

問 客席179席のうち90席分を今回の補正分で対応することだが、1席あたり9万円程度と非常に高価ではないか。

答 今回の補正で対応する客席は、本年度当初予算で措置されている県内産木材使用に伴う県補助金で対応するものと同じのものであり、大量生産品でない。製作、運搬、据付等の費用について設計事務所で見積を徴収し、積算を行ったものであり妥当である。

後年度は平年ベースに戻すため団員一人当たりの掛金が2万4700円と13倍に増額された。増額分は、特別交付税で措置される。

問 設計自体にすべて完成までの分が入っていないのは適切ではない。ただ、県補助金で対応する県内産木材にかかる工事部分については、県の指導により除いた。

答 来年3月26日までの工期内に完成しなかった場合の責任はどこにあるのか。

問 杭工事の施工をスムーズに行い、工期短縮させるため先行掘削を追加したとあるが、これは工事請負業者の都合であり、工期短縮は工事請負業者が努力すべきことでもあり、追加工事にならないのではないか。

答 想定していた以上



▲近年シカやイノシシなどが田畑や野山を荒らす被害が深刻



▲地域防災の要、南あわじ市消防団

に湧水と障害物が多かったため全箇所先行掘削をさせた。

問 淡路人形浄瑠璃館基金3390万円の取り崩しについて淡路人形協会へどのような説明をし、理解を求めたのか。

答 7月下旬と8月中旬に協会の代表理事6人と人形座3人の9人に口頭で説明し了解を得た。

会に提出された工事内訳表とは別の資料で説明したのではないのか。

答 工事内容を口頭で説明した。

問 国費返納金998万円は、22年度末までに必要な出来高を把握できていなかったためであり、施工監理業者が支払うべきでないか。

答 市が払う。この返納金は、3月末に国費を受け入れていたが4月21日の会計検査での

指摘によるもので、返納すべきものである。

■委員間討議

●基礎部分の先行掘削等の追加工事は、請負業者の責任において施工すべきものであり、工期短縮のための追加工事などは認められない。

●入札時に必要な工事部分が除かれていたことは通常考えられない。執行部から提

余剰金を基金に積立

平成23年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

■議案内容

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億7514万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ65億8804万3千円とする。

■主な質疑

問 前期高齢者交付金現年度分4228万3千円減額の理由は。

答 23年度の前期高齢者交付金は、21年度の実績に国が定めた率を乗じて概算の額を算出しており、今回、21年度の精算分を差し引いた結果、4228万3千円減額になった。

問 22年度の剰余金のうち1億1499万9

千円を基金積立としているが理由は。

答 これまで、まとまった額の繰越金が無かったので基金として積立たてたが、23年度の当初予算で22年度からの繰越金が2億円ほどあった。また、一般会計からの繰入金もあり税率を据え置くことができ、当初見込んでいたより、余裕ができたので積立たてた。

問 どれくらい基金があれば税の減額を考えるのか。

答 今のところは、財政不足が生じた時に備えたい。

■議決結果

修正案可決。修正部分を除く原案可決。

■議決結果

賛成多数で原案可決

「基礎工事の追加、認められない」

人形会館建設費補正予算、減額修正

一般会計補正予算を審査した総務常任委員会では、淡路人形会館建設工事費補正予算8,600万円のうち、基礎工事費（先行掘削、止水工事等）にあたる1,905万6,000円の追加を認めないとする減額の修正案を本会議で提出。賛成多数で可決となり、一般会計補正予算案は修正されました。

委員間討議を試行実施

委員間討議とは、賛否の分かれる議案に対し、採決前に議員間で討議し、多くの意見を出しあうことにより、審議の過程と争点を明確にすることが目的です。9月定例会の常任委員会で試行実施しました。

前納報奨金制度の廃止は？

議案内容

地方税法の一部を改正する法律（平成23年法律第30号）が公布されたことに伴うもの、現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応し

て税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律（平成23年法律第83号）が公布されたことに伴うもの及び前納報奨金を廃止するもの等により所要の改正を行うもの。

主な質疑

問 各税の不申告の過料が「3万円以下」から「10万円以下」へ改正となっているが、この額の設定は上位法に

よるものか、市独自で設定したものか。

答 上位法である地方税法の改正によるもの。

問 この条例改正には、地方税法の改正に伴う

部分と市独自の前納報奨金の廃止が同時に提案されている。分離して提案すべきでないか。

答 同じ税条例の中で改正であり同時に提案した。

問 前納報奨金制度は市民の納税意識を高められていたのではないか。

答 市民税を特別徴収（給与天引き）されている給与所得者などが制度を利用できない不公平感があること。また最近他市で導入されているコンビニ収納への適用が困難であること。全国的に廃止されていることなどを総合的に考えて廃止することとした。また行財政改革の実施計画で平成24年度廃止を示している。

問 東日本大震災に係る個人住民税の雑損控除の特例とあるが、南あわじ市での適用はあるか。

答 被災者でこちらに転入されている方が3世帯あり、その方が対象であれば適用される。

委員問討議

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

議案内容

自然災害による死亡者に係る配偶者、子、父母、孫又は祖父母のいずれもが存しない場合であって、生計を同じくしていた兄弟姉妹がいる時はその兄弟姉妹に対して支給することができるように改めるもの。

主な質疑

問 激甚災害の指定でなければならぬのか。

答 通常の災害においても対象になる。

議決結果

賛成多数で原案可決

議決結果

修正案可決。修正部分を除く原案可決。

「前納報奨金制度は残すべき」

税条例改正案に修正動議、修正可決

本会議で、税条例改正案のうち前納報奨金制度は残すべきとする修正動議が議員から提出されました。採決の結果、修正案可決となりました。

修正動議

税条例等の一部を改正する条例に対する修正案

●発議者 久米啓右議員ほか9名

修正案内容

平成24年4月1日からの前納報奨金廃止に関する部分を削除する。

●前納報奨金制度とは…市県民税（普通徴収分）や固定資産税を最初の納期に全期分を納めると年税額から前納報奨金（交付分）が差し引かれる制度。

問 被災者でこちらに

特小のごみ袋を追加

廃棄物処理手数料徴収条例の一部改正

議案内容

リサイクルの推進や核家族化により一世帯から排出されるごみが減少し、現在の規格のごみ袋では長期間の保管により衛生的な問題となる世帯が増加しているため、こまめなごみの排出に対応可能な特小のごみ袋を追加し手数料210円を徴収できるようにするもの。

主な質疑

問 今回追加される特

議決結果

賛成多数で原案可決

福良地区市営住宅新築工事

請負契約の締結

議案内容

制限付一般競争入札に付した福良地区市営住宅新築工事について、請負契約を締結するため、地方自治法第96条の規定により、議会の議決を求める。

主な質疑

問 集約建替への対象市営住宅には55世帯が入居されているが、新築される住宅は40戸であり、現在入居されている世帯が全部入居できないのではないか。

答 住み替えの調整を行っていくが入居できない世帯は、既存の市営住宅への住み替え、また集約建替への対象となつている6団地うちどれかを再整備した後、住み替えをして

請負契約の締結

いただくなどの調整を今後行う。

問 先におこなった意向調査の内容は。

答 既存の市営住宅についての意見、家賃、住み替えする場所などについての調査であった。

問 新築される住宅の家賃はどのように調整されるのか。

答 公営住宅法及び市営住宅条例により、現在の入居家賃と新築住宅の家賃の差額を段階的に6年間で調整する。

問 震度どれくらいまでの耐震性を有しているか。

答 震度6強から7程度までであれば倒壊の可能性が低い。

問 津波に対してはどう対応しているのか。

答 総務省において津転入されている方が3世帯あり、その方が対象であれば適用される。

委員問討議

南あわじ市議会だより

議案内容

自然災害による死亡者に係る配偶者、子、父母、孫又は祖父母のいずれもが存しない場合であって、生計を同じくしていた兄弟姉妹がいる時はその兄弟姉妹に対して支給することができるように改めるもの。

主な質疑

問 激甚災害の指定でなければならぬのか。

答 通常の災害においても対象になる。

議決結果

賛成多数で原案可決

議決結果

修正案可決。修正部分を除く原案可決。

波避難ビルは、津波に対しての影響力が小さいピロティ方式が有効であるとしており、この住宅にもピロティ方式を採用している。

問 屋上に避難スペースを設ければ避難できるし、救助や物資運搬に有効である。どうして検討しなかったのか。

答 2階部分は海抜5・6m以上、3階部分は福良小学校のグラウンドの高さである海抜11・6mあり、一時避難が可能である。屋上は瓦屋根を採用しているため避難スペースは無いが通路等の共有スペースへの避難は可能である。

問 地震時に、車イスを利用している足の不自由な方などが高台へ避難するルートを確認するため、さくら苑への避難連絡橋は必要でないか。

答 屋上に避難スペースが必要ではないか。

●屋上にヘリポートを、整備するには設計段階に戻らなくてはならない。屋上でなく

討論

反対 蛭子智彦

議決結果

賛成多数で原案可決

南あわじ市議会だより



問 今回追加される特

問 津波に対してはどう

●屋上にヘリポートを、

●屋上にヘリポートを、

平成22年度決算の認定

一般会計 特別会計 企業会計

※決算審査を踏まえての主な意見、要望を掲載します。

歳入

▼市税、使用料の滞納
施設使用料の滞納対策については、所管する部署が普段から経営状況の把握を行うとともに、施設の運営に対する指導・監督を徹底されたい。

▼職員の家賃資格取得
取得制度を利用しての資格取得者が低迷している。制度の周知徹底と取得の奨励により、職員のスキルアップを図るよう取り組まされたい。

歳出

▼防災対策
衛星携帯電話については15台設置されたが、引き続き、へき地や災害時孤立する地区への設置について積極的に取り組まされたい。

▼図書館費
図書館は、年間図書購入数9700冊、約1500万円が支出され

教育振興費

発達障害児等が在籍する学級にスクールアシスタントを配置し、症状に応じた個別指導が実施されているところですが、一般クラスに在籍する現状から、他の児童・生徒に及ぼす影響が問題視されているため、すべての教職員に対する専門的な研修の実施と、研修を踏まえての効果的な対策の実施が望まれる。

人形会館建設工事費

人形会館建設については、工事の遅れにより国庫補助金の返還が生じている。今後、担当部署においては、工事の進捗や現場の状況を的確に把握するなど、工程管理を適切に行い、このようなことのないよう努められたい。

図書館費

図書館は、年間図書購入数9700冊、約1500万円が支出され

れている。子どもや高齢者などが利用しやすい工夫を図るなど、より多くの市民に活用してもらうための取り組みを積極的に展開し、蔵書の有効利用に努められたい。

▼委託料
情報機器、施設設備の保守管理委託については、内容の精査及び見直しを行い、更なるコスト削減に取り組まされたい。

補助金

淡路島観光協会については、22年度に一本化されたメリットを十分活用し、淡路島全体の観光客の入り込みが増大するよう積極的な事業展開が望まれる。

▼下水道事業
一般会計から多額の補助を行っており、財政負担軽減を図るため、加入促進、施設の統廃合、長寿命化対策及び経営の合理化に積極的に取り組まされたい。

が望まれる。

▼ケープテレビ事業
行政の情報提供、市民ニーズに合った番組編成、迅速な情報提供等を積極的に進めたい。

特別会計

事業会計

討論

蛭子智彦議員から一般会計決算、国民健康保険特別会計決算及び後期高齢者医療特別会計決算について、反対討論がありました。

議決結果

全決算認定について、賛成多数で認定

決算審査特別委員会

委員長 熊田 司
副委員長 出田裕重
委員
議長・監査委員(中村議員)を除くすべての議員

議員提出による議案

原子力発電からの脱却とエネルギー政策の転換を求める意見書

提出者

廣内孝次議員

議案内容

①原子力発電を早期に見直し、自然エネルギー政策を推進すること②既存の原子力発電所を順次運転停止し、新たな建設や増設を行わないこと③放射能汚染物の処理場を早期に計画し建設すること④放射能の食品汚染の測定を長期にわたり続け公表すること⑤独立系発電事業者が売電できるように発電と送電の事業分離の推進を進めること

議決結果

賛成多数で可決

農地・水・環境保全向上対策の継続発展を求める意見書

提出者

原口育大議員

議案内容

新しく始まった向上活動支援と従来の共同活動の継続があつてこそ、農村環境の保全と整備、食糧自給率の安定的向上が図られる。

議決結果

賛成多数で可決

「離島振興法」の改正・延長を求める意見書

提出者

総務常任委員長

議案内容

離島自治体が自主・自立性を発揮して離島振興を進めることができるよう、離島振興対策の見直しを図る必要がある。

議決結果

賛成多数で可決

障害者福祉施設条例の一部改正

議案内容

ウインズで実施している障害福祉サービスで現在利用実績の無い「就労移行支援」を廃止し、「自立訓練」の利用期間が満了した者や重度の障害者が利用できる「生活介護」に変更するため所要の改正を行うもの。

主な質疑

問 利用実績が無い就業移行支援を廃止しているがニーズがあれば対応はできるか。

答 淡路島福祉会が市庁行寺で10月開設を予定しているグループホームで就業移行支援を行うことができる。また、淡路圏域で五色精光園など2箇所の事業所でも就業支援を行っている。

討論

反対 蛭子智彦

議決結果

賛成多数で原案可決

農業共済条例の一部改正

議案内容

昨年度の口蹄疫の発生を踏まえ、家畜伝染病の患者等に国が特別手当金を交付し、通常の手当金と合わせて評価額全額が交付されることとなった。また併せて口蹄疫等で殺処分された家畜についても補償対象となったことに伴い、共済金支払対象から除くもの。

主な質疑

問 家畜の異常事故による損害に対してこれまでは、家畜共済掛金の甲乙丙のうち、丙の部分の掛金を積立てて対応していたが、今後この丙掛金はどうなるのか。

答 異常事故による損害に対応した丙の部分

の掛金は今後も継続される。

議決結果

賛成多数で原案可決

損害賠償額の決定の専決処分の承認

議案内容

阿万スポーツセンター体育館外壁が台風2号の強風で落下。近隣に駐車中の車両を損傷。修理代5万1千円を賠償する。

議決結果

承認

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦(敬称略)

適任

岡 一 秀(志知)
福原 美千代(津井)



ゆづるはクラブ 柏木 剛 議員

今年度各部重点施策の進捗状況について

問 コミュニティバス運行事業は。

市長公室長 利用者は75歳以上無料化の効果で昨年比22%アップ。9月末に地域公共交通検討委員会開催。利用者アンケートは2500人に郵送予定。

問 さんさんネットの月間放送プログラムの広報折込は？

総務部長 番組審議会、ケーブルテレビ運営協議会で検討したが、当面11チャンネルの週間番組案内となる。

問 平成32年の合併

算定替時に向けての財政健全化計画の見直しは。

財務部長 平成30年に人件費30億円、公債費30億円への削減、財政調整基金30億円の積立てという健全化目標に向け、きちつとした財政運営計画を立てていく。

問 介護保険事業計画第5期計画策定は。

健康福祉部長 昨年は特養入所希望者が246名で明らかに入所すべき方が107名。107名すべて入居すると、介護保険料が現在の基準額である月額3900円が2900円上がる。今年は107名から151名と増えてきており、月額をどの程度に設定できるか、厳



特別養護老人ホーム「すいせんホーム」

しい状況にある。

問 地域の産業、観光一体化させる大規模直売所構想の進捗は。

農業振興部長 JA、酪農、漁協の協力を得てやっていきたい。今15名くらいのワーキングチームで、南あわじ市に必要であるとの認識で視察等調査を進めている。



市民連合・無所属クラブ 長船 吉博 議員

「人形会館建設」基礎工事の増額は絶対に認めない

問 建設に当たって、間違った判断を3、

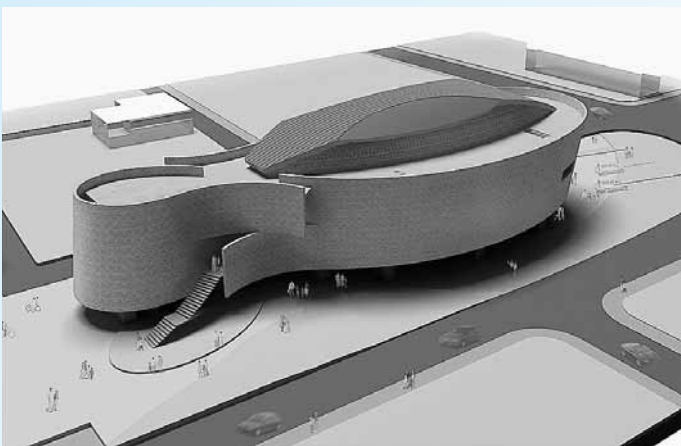
4点した。教育部長 今回、こういった管理監督が弱かった。

問 私は地元業者と積算違いは基礎工事と言った。部長は責任を持ってやっていると答弁。先行掘削が10から24箇所はおかしい。

教育部長

自身の発言もあり、深くお詫びします。

問 掘削、杭工事、薬液注入追加工事は済みか。教育部長 済み。問 補正議案承認されていないのに、



淡路人形会館完成予想図

議案承認されていないのに、

ゆづるはクラブ 森上 祐治 議員



人形会館建設について

問 平成21年12月議会での5億7700万円の議決と今回の補正の整合性は？

教育部長 入札の時に差し控えて、差金で対応しようと考えた。

問 少なくとも止水工事等の基礎工事は補正を組むべきではなく、業者の責任施工では？

教育部長 契約条項に照らし、設計事務所の確認もとおり、変更対象になると考えた。問 工期が「3か月遅れ」との答弁だが、

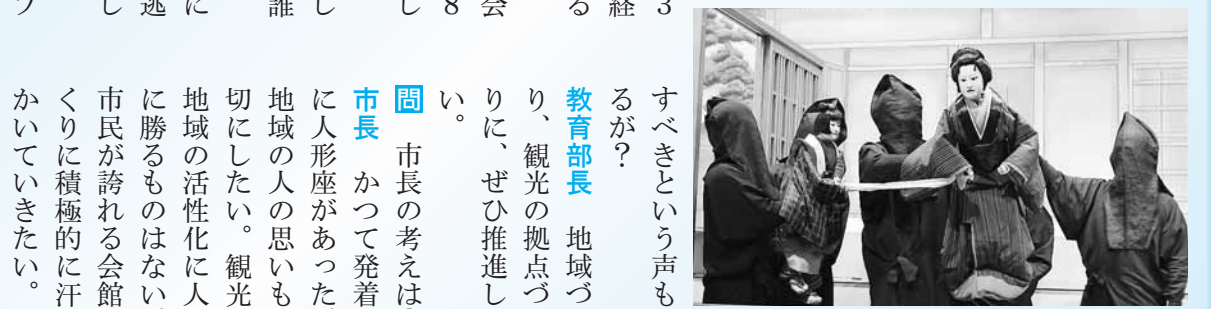
来年3月末には本当に完成出来るのか？

教育部長 非常に厳しいが、休日も返上、作業員も増やし、工期短縮の工法も協議しており、3月完成を目指している。

問 人形浄瑠璃館の入場者数は年々減って、22年度は3万7千人だ。健全経営の目標数値はあるのか？

教育部長 人形協会の経営会議では、8万人という目標にしている。

問 一時避難所としての人形会館は、誰が避難するのか？



淡路人形浄瑠璃傾城阿波鳴門

教育部長 基本的に高台へ誘導する。逃げ遅れた人に避難してもらおう。

問 一時避難所としての人形会館は、誰が避難するのか？

教育部長 基本的に高台へ誘導する。逃げ遅れた人に避難してもらおう。



ゆづるはクラブ 小島 一 議員

志知高校跡地利用

問 大学誘致についての進展状況とその経済効果は。

市長公室長 今月中にも大学の理事会で決定する予定である。又、基本的な計画が決まり次第県と詰め

の協議に入りたい。経済効果は、開校4年後には、約2億5千万円の直接的な効果があるものと思う。県営住宅緑中筋団地について

問 解体撤去、その後の土地の返還等について県より説明があったか。都市整備部長 今

年6月の取り壊しについては立ち会いをしてい



志知高校跡地

る。返還についてはまだ正式にはない。従って、契約そのものは1年という形になっている。

問 まちづくり協議会、町中振興モデル事業といった似た協議会がたくさんあって、混乱しているのではないか。また、この中から出された意見や提案は実際の施策に反映されるのか。市長公室長 地域の住民が集まって、地域の課題・問題点を

自ら解決する、話し合う場ということでなかなか合併するのも難しい。地域の方が何回も汗をかいて、会合を重ねて出た結果等については尊重していきたい。

この他「教育施設等の再編計画」について、特に地元への説明と通学路の整備について質問しました。

正道・無所属クラブ 谷口 博文 議員



問 南あわじ市の将来ビジョン、農業、漁業、酪農等壊滅的影響を及ぼすTPP参加に対する市長の認識について。



▶アオリイカ増大の取り組みとして、産卵場となっている柴を設置

と思われる。国は農政に対し具体的施策を示すべきだと思います。

市長 TPPが取り入れられたら南あわじ市の基幹産業でもある一次産業等、予想以上の影響が出る支援しております。

産業振興部長 海産物、並型魚礁、稚魚育成等効果が認められる事業は、漁業関係者と協議しながら出来るだけ継続していきたく。

客の入り込みが減少の傾向にあり高速道路料金値下げを強く要望します。

市長 淡路3市だけの協力でなく、徳島、香川、神戸市等にも協力してもらい高速道路料金設定見直しに取り組んでいきたい。

市長 関係団体、農協、酪農、漁業、また先般も国、農水省等協議して参りました。私は直販の大型店、食を提供する施設を設置すべきだと思います。

市民連合・無所属クラブ 印部 久信 議員



災害時避難所開設について

問 風水害(台風襲来)時の避難所の開設は、総務部長 自主避難という事で拠点避難所を開設し風水害を心配する家庭、特に一人暮らしの高齢者



▲避難所(松帆活性化センター)

の方々のため、事前に避難する場所が必要であるため開設する。

市長 状況に応じて避難勧告を発令する場合はありますが、発令された時はすでに風雨が非常に厳しい時である。果たして避難できるのか。避難する際、被災に合う事例が結構ある。市は状況を把握し避難勧告を早く出してほしい。また市民に避難所を早めに気軽に利用していただく様、積極的に啓発してほしい。

人形会館建設について 問 人形座は今ある記念館で拡張してやるべきとの考えは、今も変わっていませんが、本議会に会館建設費補正8600万円、

うち外構工事2889万9千円が計上されている。特に基礎工事は議会(特に福良出身の議員)よりの意見提案があったにもかかわらず、「増額することのない様やう」との事であったが。

教育部長 止水関係が出来なかったといううようなことで、想像を絶した気持ちです。問 杭打ちのための先行掘削を当初10箇所から24箇所追加したとのことですが、その費用を審議しているのに「すでに工事は終わった」と。どういうことか。

教育部長 地下の関係する工事はどうしても工期が遅れるので設計業者、請負業者と協議し進めた。問 議会軽視を通り超えている。

日本共産党 蛭子 智彦 議員



災害弱者への対応は改善されたか

問 災害弱者への対応について、具体的にどう進んでいますか。

総務部長 関係部内での協議を進めているところですが、健康福祉部長 マニユアルに不備な点があるので、改善を検討しています。

市の独自対策で被害緩和を

問 松帆では避難勧告がでて道路が水没して避難所に行けません。小さな排水機場を作って道路の冠水を緩和するべき。また、倭文川は老朽化し非常に危険なので一刻も早い対策を求めて下さい。

都市整備部長 三原川水系の河川改修計画の中で、小さな排水機場の建設は県の課題にはなっていない。三原川と倭文川の改修の優先順位を地元にお願しています。



▲台風15号で護岸が崩落した倭文川

ゆづるはクラブ 原口 育大 議員



自然環境と歴史学習の場づくり

問 市地区圃場整備の際に発見された木戸原遺跡は、北淡の垣内遺跡にも負けないほど貴重な遺跡であると聞かすが、現在は記録保存をして現地に案内板が立っているだけである。木戸原遺跡あとの圃場に堅穴式住居等を復元して、隣接する皿池公園と一体の自然環境と歴史学習の場を整備していただきたい。

教育部長 良いことだと思いが、復元の経費や土地の処理など課題があると思う

中央リサイクルセンター

問 センターまでの案内標識・利用料金表示・構内での車の動線表示などの改善を。

市民生活部長 速やかに改善したい。公共工事の入札について 問 入札で最低制限価格と同額の業者が複数になった場合には、公平にくじ引きすればよ



▲木戸原遺跡の学習会



市民連合・無所属クラブ 北村 利夫 議員

行財政について

問 少子高齢化、人口減は今後も続くのか。

財務部長 歯止めをける施策を展開しているが徐々に減少する。

問 少子高齢化、人口減で今後の財政運営への影響は。

財務部長 税収の減少一方高齢化社会で医療・年金・介護等社会保障費が増加し財政負担が増える。

問 市民に税を課す目的は何か。

市民生活部長 行政サービスに必要な、生活をする会費。

問 税の使われ方は

平等・公平か。財務部長 貴重な税金市民サービス向上のため公平公正に適正に使用している。

問 会社員・サラリーマンに対する、施策等はあるのか。財務部長 特に思いあたる節はありません。

問 一番人口割合の多いところに、思い当る施策が何もないのは、不公平じゃないのかなという気がいたします。

次に、住民検診の対象は。健康福祉部長 基本的には、市町村国保の加入者で19歳以上。

問 国保財政の見通しは。健康福祉部長 市町村国保

市町村国保



▲町ぐるみ健診

自体がもう破綻をきたしている。問 国保財政の改善策何か考えられますか。健康福祉部長 国が考えるべき事項。

問 高収入の安定した所得がある、公務員がこの制度に加入すると保険財政非常に楽になると思いますが。財務部長 答弁は差し控えます。



ゆづりはクラブ 出田 裕重 議員

学校・保育所の津波防災計画の見直しは？

教育部長 幼小中学校とも、今回のような津波注意報、津波警報時の避難を含めて計画の見直しをしている。12月には防災教育推進連絡会議において調査研究、協議し、計画を仕上げる。

健康福祉部長 保育所それぞれで緊急時の連絡網はあるが、津波被害の恐れが大

きいと予測されるところはマニュアル策定し、避難訓練をしていく。

問 各学校施設の危機管理、警報発令時

の「引き渡し」の考え方はどうなっているのか？

教育長 3・11当時、南あわじ市と教育委員会に情報の違いがあったのも事実。学校における危機管理は「子供の命を守る」「災害に強い子供を育てる」

「学校の先生の情報の伝達システムを確立する」そして「引き渡し」を含めた「二次災害の発生防止に努めること」。

想定外をなくすという思いで日ごろから真剣に訓練をやっていく。

問 国や県



石巻市立釜小学校では大津波警報発令中も「引き渡し」を続け、22名もの児童が死亡・行方不明となった。学校に残った児童は全員が無事だった

の防災計画の策定を待つ必要などない。国も県も南あわじ市の子供の命は守ってくれない。行政と学校の危機管理情報システムの連携等を含め早急な計画の見直しを強く望む。



正道・無所属クラブ 久米 啓右 議員

危機管理体制

問 危機管理という組織はあるのか。

総務部長 危機管理という形ではない。

問 公金横領事件時の対応は。

総務部長 事後に再発防止委員会を立ち

上げ対応した。問 口蹄疫発生時はどうしたか。

農業振興部長 畜産関係者で口蹄疫対策本部を市で立ち上げ対応した。

問 指定管理における使用料未納に対する危機管理は。

産業振興部長 危機管理ができていなかった。

問 部門ごとの危機管理では効率が悪い。今後の課題としていただきたい。

賀集201号線

問 オニオン道路と阿万バイパスを

結ぶ賀集201号線の現状は。

都市整備部次長 計画2.2kmで1.7km完成している。問 0.5km残っている理由は。



▲工事が途中で中断されている賀集201号線

都市整備部次長

ほ場整備で水が集中するため道路側溝幅について地元との話し合いがつかなかった。

問 その後対策工事をしたがその効果はあったか。

農業振興部長 台風12号では水が溢れていない。

問 現在この路線の計画は。

都市整備部次長 計画は画されていない。

問 重要な路線である。その後、側溝幅について地元の譲歩もある。市長の考えは。

市長 道整備交付金で予算措置されている。たもので現状では厳しい。しかし何としても整備できるように担当と協議していく。



正道・無所属クラブ 楠 和廣 議員

問 県道福良江井岩屋線事業進捗と地籍調査について。

都市整備部次長 用地の立会い等完了。用地の契約に向けて取り組んでいる所。

農業振興部長 工事区間内の調査は終わっておりません。

問 県道洲本松帆線間の対向困難な箇所整備計画について。

都市整備部次長 市有地での待避所整備の県要望を考えています。

問 台風通過後の倭文川の崩落箇所多発浸食状況での県土木の対応見解について。

都市整備部次長 被害箇所につきまして

は、災害の採択申請への対応をしている所です。

問 倭文川の草木の刈り取り整備について。

都市整備部次長 現状を把握して、対応いたします。

問 教育施設再編基本計画について。学校統合再編に長期的な児童・生徒数推移によって計画されているか。

教育部長 地域保護者の意見、子供達の推移を見ながら取り組んでまいります。

問 米飯完全給食への取組について。地産地消、地元食材100%使った給食事業を。



▲米飯給食をおいしそうに食べる児童（賀集小学校）

公明党 熊田 司 議員



音声コード導入について

問 音声コード導入に向けて、市の考えは。

健康福祉部長 点字を読める人が少ないので音声コードを利用できる音声読み取り装置を普及させたいと考えている。

問 音声コードについての周知は出来ているか。

健康福祉部長 あまり知られていない。視覚障害者一・二級に該当すれば、読み上げ装置は市民税の非課税世帯では、日常生活用具の給付対象であり、無料で購入できる。

入できる。課税世帯でも定価(9万9800円)の一割負担で購入入できる。今後、受給者証送付時等に周知していきたい。

学校図書館の整備について

問 学校図書館標準に達していない学校はいくらか。

教育部長 小学校は17校中11校、中学校は7校中2校が未達成。小学校は3年、中学校は2年を目標に学校図書標準に達するよう努力していくと考えている。

空き家対策について

問 空き家を有効利用できた事例はあるか。

市長公室長 くにうみ協会であわじ暮らし相談窓口事業を行っており、22年度は淡路島全体で5件の実績がある。問合せは200件以上あるが工事費や相続問題があり、契約まで結びついていないのが現状である。



▲学校図書の充実を(市小学校)

正道・無所属クラブ 廣内 孝次 議員



津波対策について

問 津波の避難訓練をどのように推進していくのか。

総務部長 催しとあわせて防災訓練を継続的に進めていきたい。また地域へ出向いて、学習会などで啓発をしていく。

問 職員を東日本大震災復興支援に派遣しているが、現地状況報告会は。

総務部長 自主防災組織の学習会等で行っている。
問 要援護者の人数が実情と合っていないが。
総務部長 民生委員の調査で2577人

で高齢者、独居老人、ひとり暮らし、不安視をされる方等も大勢いる。正確な人数の把握、支援のあり方を構築していく必要がある。

入札、業者選定について

問 設計業務で過大設計にならないようにする対応は。

財務部長 計画担当部からヒアリングをし、根拠を聞いた上で、予算編成する。

問 建築工事は一式工事で、不明である地盤下の状況についても地質調査などを行い、設計をするので工事も建物ができる上がつての請負金額となる。工法変更の追

加は認められない。土木工事は出来高清算方式の契約となるが間違いはないか。
財務部長 その通りと認識している。
問 公共工事は経済活動や社会資本の整備を行うものであり、その入札及び契約に関して、疑惑を招くことのないようにするとともに、適正な施工を確保し、良質な社会資本の整備が効率的に推進されるようにすることが求められる。



▲9月に福良小学校と保育所合同で行われた避難訓練

正道・無所属クラブ 川上 命 議員



環境保全について

問 淡路島総合特区の中で、あわじ環境未来島構想について。

市長公室長 淡路島3市と兵庫県が連名で、この9月末までに、あわじ環境未来島構想の申請を正式

に行う予定。目指す地域像は「命つながる持続する環境の島」ということで、3つの大きな取り組み内容がある。申請後、認定を受けたのち、淡路島全島で一体的な取り組みが展開される。

下水道について

問 加入率、施設の統廃合、下水処理の長寿命化、莫大な企業経営の赤字。

下水道部長

経費節減の中にあって下水処理の長寿命化事業、下水処理場の統廃合、今年度から、統合の基本計画書を作成したいと思っている。

農業の6次化をどう進めるか
農業振興部長 6次産業の考え方は、生産加工、販売の一体化ですが、直販所は大型直販所を考えている。6次産業には女性の進出が地域活性化のために必要である。
都市整備部長 この道路は、危険箇所ですので、洲本土木との調整会議等で、要望を挙げている。地元との体制、協力もとりながら返事をしている。津井、伊加利線は、約束事でありますので、第1期工事として伊加利のほうから辰美中学、約640㎡計画している。

市民連合・無所属クラブ 登里 伸一 議員



人形会館建設の増額は反対

問 外構工事の増額は入札前の質疑書で、五洋建設も島内業者も同じ条件で承知をし落札した。止水・排水・障害物等のことで増額を認めれば島内業者の金額と変わらない。支払うべきではない。

教育部長 質疑書で適宜判断するよう特記仕様書に記載していただきました。増額になったことはお詫びします。

問 増額内訳書の外構工事を圧縮し、その分を他の各工事に入れて膨らませて

いないか。外構工事を削っても意味がない。
教育部長 精査した金額です。そういうことはございません。

廃校の津井小学校で野菜工場を

問 教室を温度管理して苜などを、校庭は水耕栽培の野菜工場にしている会社がある。プールで水を確保、初期投資は半額、地元で40人が雇用されている。若者が地域に残れる方策として提案する。

教育長 自治会から現状改善の強い要望があり、魚の養殖など数々の議論をした。まだ時間をかけて検討という状況。一つの貴重なご意見とし

ます。
志知地域の活性化を問う
問 陸の港は交通の中心地だ。この立地を生かし、若者が住むまちにと地域の声が大きいです。
市長公室長 大学誘致が進んでいる。住居等々民間活力に期待します。



▲廃校となっている旧津井小学校

1年間の調査報告

議会閉会中に行われた各常任委員会の1年間の活動結果を報告します。

総務常任委員会

市の総合的企画、調整

重点施策の立案にあたっては、市民へのアンケート調査や審議会等への公募による市民の積極的な登用を図りたい。

行財政計画

経費の効率化に努め、合併による地方交付税等の特例期間が終了する平成32年度においても収支均衡が図られる。

市有財産の維持管理と財源の確保

地方分権が叫ばれる中、国や県に対しては自治体に主体性のある財源確保の手法につ

ての要望等を行われた

消防・防災対策の推進

防災マップの作成等

防災対策について、防災課が地域に入って協議しているが、避難所担当職員も地域に入るなどして、市役所全体で防災対策に取り組ま

ことにつながることを認識してもらい、災害時には一人の犠牲者も出さないように取り組ま

国際交流及び友好市町の調査

民間交流を含め、これまで以上に友好市町との交流に工夫、継続を努められたい。

選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会

選挙事務については、適正かつ迅速に執行できるように取り組ま

情報化のコスト削減

情報システムの保守管理委託料の削減に努められたい。

離島振興対策

離島航路については利用者の利便性を考慮した航路の運営に配慮するよう関係機関へ働きかけを引き続き行い、離島の人々の生活の安

文教厚生常任委員会

教育の充実・文化、スポーツの振興と関係施設の整備

学校施設の再編については、市民の理解・協力を得られるよう丁寧な説明を行なうこと。

人権施策

人権尊重を自然に態度や行動として表すことが定着している社会の実現に向け、人権の尊重という目標をしっかりとし、人権にかかわるあらゆる問題の解決につなげていくという、広がりのある

税の賦課徴収

収納率向上に向け収税課で積極的に取り組まれているところ、引き続き収税体制の工夫及び税務課との連携による効率的な徴収に努められたい。

医療体制と健康づくりの推進

住民検診は、受診者が増えれば増えるほど、早期発見、早期治療が可能となり、重症になる前に対処できるため、医療費等も抑えられる。新規受診者を増やすよう努力されたい。

青少年の健全育成

青少年の健全育成には、家庭をはじめ、学

福祉施策

校、行政、地域団体、警察などの連携により、地域社会が一体となつて取り組まれたい。

介護保険と高齢化社会対策

健康で元気な高齢者を介護の要支援、要介護にしないための事業推進に取り組まれたい。

生活環境の整備推進

火葬場の老朽化が進んでいるため、施設の改築等について積極的に取り組まれたい。

産業建設常任委員会

産業振興の推進

観光産業が非常に低迷しているため、観光協会及び商工観光課などにおいて積極的な集客施策を講じられたい。観光施設のトイレは気持ちよく使用できるように取り組むとともに、賀集公園のトイレの開放を県に強く要望されたい。

緊急雇用創出事業は成果を検証し、必要な事業は市の単独事業として実施することを検討されたい。

農業振興の推進

従事者の減少、高齢化、耕作放棄田の増大など課題が多い中、認定農家等の指導者育成、営農組織による安定的な農業経営の推進に取



委員会レポート

7月～9月の議会運営委員会と特別委員会の活動報告

り組まれたい。

地域団体商標登録を
取得した「淡路島たま
ねぎ」の使用方法につ
いて積極的にPRに努
められたい。

有害鳥獣により被害
が増大しており、捕獲
駆除、狩猟免許取得に
伴う補助及びシカの防
護柵の設置を継続し、
負担及び被害軽減に取
り組まれたい。



畜産業は、口蹄疫及
び鳥インフルエンザに
ついては万全の防疫体
制がとれるよう準備さ
れたい。

都市整備事業の推進

農業共済の建物共済
は、国の指摘により次
回の加入ができない無
資格加入者に対し、理
由を説明し他の保険に
加入するよう取り組ま
れたい。

れたい。

下水道事業の推進

徹底されたい。

環境保全に対する住
民意識の高揚、早期接
続者奨励金の周知など
の施策を積極的に展開
し、効果的な加入促進
を行うなど事業推進に
鋭意努力されたい。

農業委員会

農地法が改正され、
転用が難しくなってい
る上に、違反転用によ
る罰則も非常に厳しく
なっており、取り扱
いは適正に処理されたい。
耕作放棄田が年々増
加しているが、利用状
況調査をもとにあっせ
ん、利用調整を行い抑
制に努められたい。

ライブ中継・録画配信について 先進地を調査

議会運営委員会

本会議・委員会のライ
ブ中継及び録画配信に
ついて7月27日、28日
に愛知県犬山市議会と
瀬戸市議会を視察調査。

大いに参考となった。
議会情報の市民への
発信の一つとして、こ
れまでのインターネット
トによるライブ中継・
一般質問の録画配信に

加えて、加入率90%の
CATVを有効に活用
して本会議・委員会・
議会報告会等の議会情
報番組を充実させて行
くことが可能であり、
また必要と思われる。

視察参加者

議長、議会運営委員5
名、常任・特別委員会委
員長5名、事務局2名

瀬戸市議会

瀬戸市議会において
は、ユー 스트リームに
よるライブと録画配信
インターネット録画配
信について調査し、メ
リットとデメリットに
ついて意見交換をした。
経費面においては有
効であるが、画像、ア
クセスのしやすさ等
において問題がある。



▲議会映像の録画配信について管外調査（愛知県犬山市）

議案に対する賛否公表、 委員間討議の試行実施

議会改革特別委員会

7月14日の委員会

①議会基本条例の理念
について
各委員の意見を聞き、
正副委員長、前委員長
で理念となる原案を作
成することとする。
②議案に対する賛否の
公表の試行実施につ
いて
9月議会提出の議案

に対する各議員の対応
を公表する。賛否の確
認方法は採決時、議場
において事務局職員が
各議員の対応を確認す
る。広報掲載前に、広
報広聴特別委員会各
議員に確認する。補助
確認ツールとしてイン
ターネット映像を使用
する。

③委員会のあり方につ
いて

議会フロア等を審議

庁舎建設特別委員会

8月1日の委員会

新庁舎の4階の議場フ
ロアについて、執行部の
提案では、段差のない平
面とし、多目的に利用で
きるように可動椅子を採

用。また座席配置は、中
央に議長席を設けた対面
式であった。この案につ
いて議会側の意見を聞き、
今後の基本設計に生かし
たいとの説明であった。
これに対し議会からは、

この対面式は、議会とし
て好ましくないとの意見
が多かった。また、多目
的に利用するため、可動
式とすることも賛成する
委員はいなかった。

また傍聴席は、市民目
線にたった配慮をするこ
と。また、車椅子での傍
聴も可能なスペースを確
保し、材質も議員と同等

のものとすべきとの意見
があった。
まとめとして、議会側
から設計案を作成し、次
回に協議することとした。

8月26日の委員会

議会側の原案として、
委員の案を提示し協議し
た。
議場は一般的な形状に

し、委員会室と議員協議
会室を別にしたものであ
る。また喫煙場所の配慮
を促した。
執行部は議会側の意見
を参考に今後計画を進め
ることであった。

9月議会での議案に
対する賛否の公表は、



▲議会改革の先進地を調査（長野県松本市）

管外調査

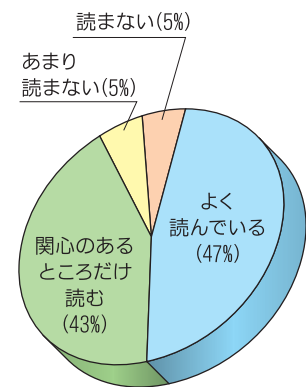
8月18日～19日に長
野県塩尻市、松本市を視
察研修。

「議会だより」アンケート結果のご報告

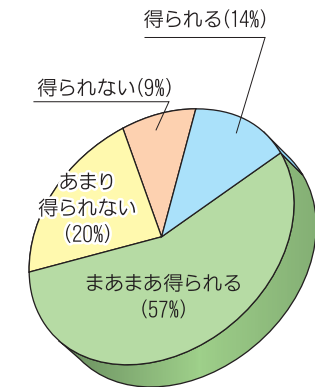
南あわじ市議会広報広聴特別委員会では議会の情報をより多くの方に、わかりやすく提供していく目的でアンケートを行いました。9月末までに58名の方からご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

アンケートの結果がまとまりましたのでその概要をお知らせします。

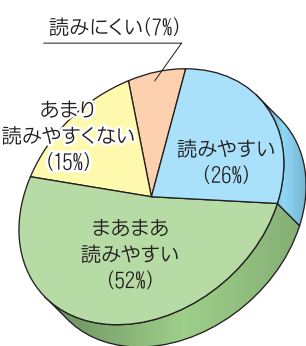
問1 議会だよりはよく読んでもらっていますか？



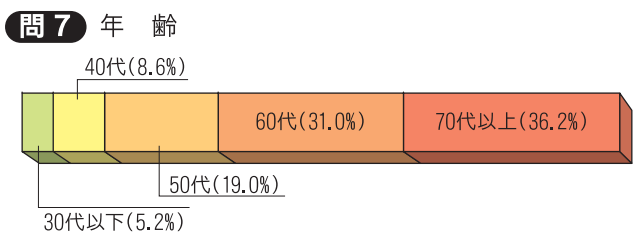
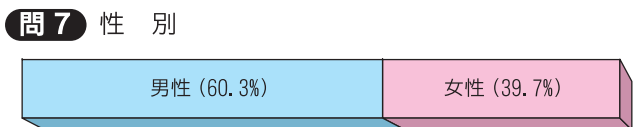
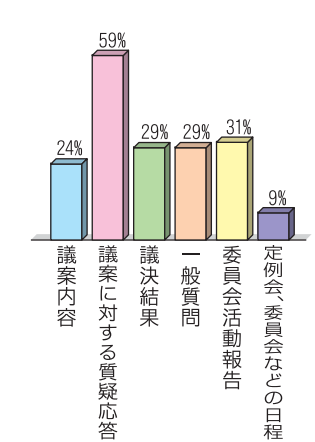
問2 議会だよりで議会の情報が得られますか？



問3 議会だよりの読みやすさはどうでしょうか？



問4 議会だよりで興味があり、もっと詳しくしてほしい内容は？



問1 議会だよりはよく読んでもらっていますか？

問2 議会だよりで議会の情報が得られますか？

問3 議会だよりの読みやすさはどうでしょうか？

問4 議会だよりで興味があり、もっと詳しくしてほしい内容は？

問5 議会だよりで他に載せてほしい記事がありましたらお聞かせ下さい。

問6 議会だよりについてご意見ありましたらお聞かせ下さい。

問7 性別

問8 議会広報広聴全般についてご意見ありましたらお聞かせ下さい。

問9 年齢

- 議案に対する各議員の賛否の態度
● 会派ごとの市政への考え方
● 議員が順番に随想のようなものを書き、それを掲載
● 先進視察で「何を見て、聞いて」「何を学んで」「それを今後どう生かすのか」の記事

今後、この結果、ご意見を参考にしながら「議会だより」をもっともっと多くの方に読んでいただき、少しでも皆様にとって議会が身近な存在になるよう企画・編集に努めてまいります。



中村三千雄議員 総務大臣から 感謝状

議員として35年以上の永きにわたり在職し地方自治の発展に顕著な功労があったとして、中村三千雄議員に10月28日、総務大臣から感謝状が贈られました。

議会活動日誌

Table of council activities from July to September, listing dates and event names such as '7月9日の議会及び議長の話' and '8月1日 庁舎建設特別委員会'.



▲7月25日に開催した議員研修会。講師に兵庫県町議会議長会の長濱秀次郎事務局長を迎え、議会活動と議員の責務についての講演を聴講しました

第40回南あわじ市議会定例会日程（12月）

◆開会：午前10時～

会議日	会議内容（予定）
第1日 11月24日(木)	1.委員会調査報告 2.常任委員の選任 3.議会運営委員の選任 4.特別委員の選任 5.議席の変更
第2日 11月25日(金)	6.専決処分の承認（説明、質疑、討論、表決） 7.条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 8.平成23年度 南あわじ市一般会計、特別会計補正予算案上程（説明、質疑、委員会付託） 9.その他の案件上程（説明、質疑、委員会付託）
第3日 11月30日(水) ※午後2時～	1.付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決）
第4日 12月7日(水)	1.一般質問
第5日 12月8日(木)	1.一般質問
第6日 12月9日(金)	1.一般質問 2.追加議案上程（説明、質疑、委員会付託）
予備日 12月12日(月)	
第7日 12月20日(火)	1.付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決）



◆開会：午前10時～

	会議内容	会議日
委員会	総務常任委員会	11月30日(水)
	総務常任委員会	12月13日(火)
	文教厚生常任委員会	12月15日(木)
	産業建設常任委員会	12月16日(金)

インターネット放送が充実

一般質問の録画放送

★さんさんネットで放送された9月定例会の一般質問を録画配信しています。ご覧ください。

インターネット中継（生放送）

★インターネットで議会ライブ中継（生放送）を行っています。本会議と常任委員会、特別委員会（広報広聴特別委員会を除く）を放送しています。会議時間中のみ放送しています。



南あわじ市ホームページ「議会情報」をクリック

↓
「インターネット中継」
「録画配信」をクリック

編集後記

東日本大震災以後の国難と言える現状、日本人には国を守る、地域を守る、家族を守るといふ精神が日ごとに重要になってきていると感じます。地域を復興、発展させていくことは、それらの地域に関わりを持つ人の地域を愛する心から生まれてきます。そして、これまでの戦争や災害の荒廃から日本を復興させてきた先人のご労苦に恥じないような生き方をしなければなりません。明けない夜はありません。日本の未来は必ず明るいと信じています。

一年間、柏木委員長のもと4回の広報誌の発行に携わらせて頂き、今期は議会として初めてのアンケート調査も実施させて頂きました。ご協力いただきました皆様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

（出田）